



こんにちは  
**加藤ひろし**  
です

第63号



私の活動地域  
晴海・勝どき・豊海町  
築地・浜離宮庭園

くらしや区政のご相談  
お気軽にお電話ください  
3551-6820 (事務所)  
3533-0583 (自宅)

日本共産党中央区議会議員 私のブログもご覧ください 『こんにちは加藤ひろしです』で検索!

東京都が (仮称) 晴海5丁目西地区(選手村) 「環境影響評価書案提出」  
大気汚染は基準内、「風環境は改善する」とは・・・

昨年12月、東京都は「選手村 大会終了後における住宅棟のモデルプラン」を公表しました。1月23日に、この住宅等の整備を行うために、(仮称)晴海5丁目西地区開発計画について、都知事宛に「環境影響評価書案」を提出しました。

延べ8年間にわたる

大規模工事

2020年東京五輪選手村計画は、晴海5丁目地内の180,000㎡の都有地に14〜17階建ての住宅棟(板状)22棟、仮設の食堂などを配置。大会終了後に超高層タワー棟2棟(50階建て)や商業棟1棟、学校などを整備を予定。住宅棟(約6000戸)は民間マンションに転用する計画です。工事は大会までの2016年〜2019年と大会終了後の2020年〜2023年と分かれて工事が計画されています。

工事中・二酸化窒素は、  
環境基準上限いっぱい

環境に及ぼす影響の評価の結論で、「大気汚染」については、工事中の二酸化窒素は0.060ppmと環境基準の0.060ppmの上限いっぱいです。また「浮遊粒子状物質」も「環境基準値を下回る」としています。今でも汚染の深刻な臨海部で、大気汚染の悪化が心配されます。

壁のような建物配置で

「風環境は改善」する?

また風環境について「建設前の風環境は事務所街相当の風環境(ランク3)から建設後は、その多くが住宅地の商店街・野外レストラン相当の風環境(ランク1)、又は住宅街・公園相当の風環境(ランク2)に変化し、風環境が改善されると「強弁」しています。このことは内陸部への海風が遮られることとなります。守るべき環境基準を超えても、ヒートアイランドが加速することが予想されることが事実でも平気で事業を進めようとする東京都の姿勢が厳しく問われています。



都が発表している大会後の住宅イメージ

築地市場移転反対・現在地で再整備を

## 広大な都有地に 公的住宅計画ゼロ

選手村は、民間事業者が整備を行い、大会終了後、分譲マンションや賃貸マンションとして販売する予定です。また、五輪終了後、2棟の超高層マンションを建設する計画です。計画には、都有地でありながら公的住宅が計画されていない問題があります。得がたい都有地の活用に、都営住宅など公的住宅の確保が求められます。

また、現在の晴海ふ頭公園のあたりに練習用トラック（仮設）が計画されています。五輪終了後には区民が利用できる施設として整備すべきです。

### 住宅等の考え方

|     |         |         |         |
|-----|---------|---------|---------|
| 棟   | 数       | 板状棟     | 22棟     |
|     |         | 超高層タワー棟 | 2棟      |
|     |         | 商業棟     | 1棟      |
| 階   | 数       | 板状棟     | 14階～17階 |
|     |         | 超高層タワー棟 | 約50階    |
|     |         | 商業棟     | 4階      |
| 総戸数 | 約6,000戸 |         |         |

※住宅棟（超高層タワー）、商業棟は大会終了後に取り壊す

## 吉田信夫都議、 都議会で中央区の要望への 対応を要求

日本共産党都議団の吉田信夫都議は、中央区が発表した「晴海地区将来ビジョン」のなかで、大会後の選手村の住宅活用について具体的に提案していることを受け、1月19日に区側からは、松村秀弦地域整備課長、早川

秀樹オリンピック・パラリンピック調整担当課長が出席し、党区議団も同席しました。

吉田都議は、この日の「聞き取り」をうけ、1月27日の都議会オリンピック・パラリンピック特別委員会で「中央区が策定した『晴海地区将来ビジョン』で、選手村地区に分譲住宅、賃貸住宅、学生寮、社宅、高齢者施設、医療施設などの整備を掲げている」ことを示し、今後対応していくよう求めました。

オリンピック準備局の荒井俊之輸送担当部長は「地元区とも連携し、まちづくりに取り組んでいく」と答えました。

さらに吉田都議は、50階建て超高層マンション2棟を計画していることについて、事前に意見を聞いた民間デベロッパーの意向を受けたものではないかと疑問を投げかけ、都が国際オリンピック委員会



「晴海将来ビジョン」について区の説明を受ける吉田都議（中央）と党区議団（1月19日）

に提出した立候補ファイルに明記した選手村のコンセプトや宿泊棟の配置計画を大きく変更するものだと指摘。「都が用地取得、基盤整備を含め、莫大な公費を投入する選手村整備が、一部の民間事業者の利益のためにゆがめられることはあってはならない」と批判し、計画の再検討を迫りました。

### 地元からも批判の声

同委員会では、他の委員から「超高層マンションで収益を得ようとするのは間違いだ」の声があがっていると指摘、「億ション、こんなものはレガシー（五輪大会の遺産）」というべきでないと思う」と批判が出ました。

### 住民の声を反映した選手村整備を

晴海5丁目に選手村が整備されることを契機に、耐かこの魅力あるまちづくりに結びつけることを目的として、地域住民の代表や公募による委員によって構成された「晴海将来ビジョン検討委員会」を設置し、10回にわたる議論を重ねて来ました。「検討委員会」は、『持続可能な多様な人びと、幅広い世代が住まう街を目指し、分譲住宅に加え、賃貸住宅、学生寮、社宅、SOHO、宿泊施設、サービスクラス高年齢者住宅、多様な住まいの創出』することを求めています。

12月7日には、「晴海地区将来ビジョン（案）」をまとめ、今後、仮称「推進会議」を設置し、反映されるよう東京都へ提出し、協議を重ねていくとしています。

私（加藤ひろし）は、住民の声を反映した選手村整備を求めて力を尽くしていきます。